



※2011年10月改訂(記載要領変更に伴う改訂)

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。  
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

第3類  
医薬品

# アスピタン®〈デルマ〉

ウルソデオキシコール酸配合 ビタミンB<sub>2</sub>主薬製剤

- アスピタン〈デルマ〉は、肌あれ、にきび、口内炎等の皮膚・粘膜の諸症状の緩和、また、肉体疲労時、妊娠・授乳期、病中病後の体力低下時のビタミンB<sub>2</sub>の補給に適しています。
- 本剤はビタミンB群としてビタミンB<sub>2</sub>酪酸エステルに、ビタミンB<sub>6</sub>、ニコチン酸アミド、ピオチンの4種類、ビタミンB<sub>2</sub>の吸収を促進するウルソデオキシコール酸を配合したカプセル剤です。
- ビタミンB<sub>2</sub>酪酸エステルは、ビタミンB<sub>2</sub>に酪酸を結合させ脂溶性としたもので、組織での持続時間が長いビタミンB<sub>2</sub>です。
- ビタミンB群であるビタミンB<sub>2</sub>酪酸エステル、ビタミンB<sub>6</sub>、ニコチン酸アミド、ピオチンは、脂質、タンパク質、糖質の代謝を改善して、皮膚・粘膜の新陳代謝を促し、健康でなめらかな皮膚・粘膜を維持する働きがあります。



## 使用上の注意



### 相談すること

1. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
消化器	胃部不快感、胃部膨満感、食欲不振、吐き気・嘔吐



2. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください  
下痢
3. 1ヵ月位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

### 【効能・効果】

- 次の諸症状の緩和：肌あれ、にきび、口内炎、目のかゆみ、口角炎、口唇炎、舌炎、湿疹、皮膚炎、かぶれ、ただれ、赤鼻、目の充血  
「ただし、これらの症状について、1ヵ月ほど使用しても改善がみられない場合は、医師又は薬剤師に相談してください。」



肌あれ、にきび



口内炎



目のかゆみ

- 次の場合のビタミンB<sub>2</sub>の補給：肉体疲労時、妊娠・授乳期、病中病後の体力低下時



## 〔用法・用量〕

次の量を服用してください。

年 齢	1回服用量	1日服用回数
成人(15歳以上)	1カプセル	2回(朝夕)
7～14歳	1カプセル	1回
7歳未満	服用しないでください	

## 〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 用法・用量を厳守してください。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (3) **カプセルの取り出し方**

右図のようにカプセルの入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用してください。

(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。)



## 〔成分・分量と働き〕 2カプセル中

成 分	分 量	働 き
リポフラビン酪酸エステル (ビタミンB <sub>2</sub> 酪酸エステル)	20mg	ビタミンB <sub>2</sub> は「皮膚・粘膜のビタミン」、「脂肪分解ビタミン」といわれており、皮膚の新陳代謝、脂質代謝を促進する働きがあります。リポフラビン酪酸エステルは、組織での持続時間が長いビタミンB <sub>2</sub> です。
ピリドキシン塩酸塩(ビタミンB <sub>6</sub> )	50mg	脂質やタンパク質の代謝を促進し、皮膚・粘膜の健康を維持します。
ニコチン酸アミド	60mg	糖質の代謝を促進します。
ピオチン	0.04mg	脂質代謝機能を正常に保ち、皮膚組織の働きを強化します。
ウルソデオキシコール酸	20mg	ビタミンB <sub>2</sub> の吸収を促進し、効果を高めます。

添加物:乳糖、CMC - Ca、セルロース、パレイシヨデンブ、黄色5号、ラウリル硫酸Na、亜硫酸水素Na、ゼラチン

## 〈成分・分量に関連する注意〉

本剤の服用により尿が黄色くなることがありますが、これは本剤に含まれるリポフラビン酪酸エステル(ビタミンB<sub>2</sub>酪酸エステル)によるものです。

## ◎保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4) 使用期限(外箱に記載)を過ぎた製品は、服用しないでください。



副作用被害救済制度のお問い合わせ先  
(独)医薬品医療機器総合機構  
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>  
電話 0120-149-931 (フリーダイヤル)

本製品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は  
下記にお願い申し上げます。  
佐藤製薬株式会社 「お客様相談窓口」  
電話 03(5412)7393  
受付時間:9:00～17:00 (土、日、祝日を除く)

発売元  
**佐藤製薬株式会社**  
東京都港区元赤坂1丁目5番27号  
製造販売元  
**佐藤薬品工業株式会社**  
奈良県橿原市観音寺町9番地の2